

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年 3月 11日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4			指定基準を満たしており、限られたスペースを有効活用できるように工夫します。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	4		より良い支援のために もっと支援員がいたらと 思うことがあります。	職員配置については、高崎市の定める指定基準を遵守して、サービスを提供しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3		・毎日、支援に入る前、振り返りの時間があります。	支援員間での情報共有を図り、業務改善に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		年度末、保護者の要望を聞き取り支援に取り入れています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3		毎年公表しています	毎年法人ホームページに掲載します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2		現在、外部評価を受ける予定はありません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			コロナ禍でオンラインでの研修等にも参加しました。	研修の機会には積極的に参加します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		保護者の方から聞き取りを行い計画作成に繋がっています。高学年の児童には、ご本人の希望を聞くようにしています。	本人、保護者の希望を取り入れた計画策定に努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3			アセスメントツールの導入を検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		支援員全員で相談し立案しています。	アイデアを出し合い、様々なプログラムを提供できるようにします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			支援員がローテーションで活動を担当しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		放課後にできない活動を実施しています。(調理実習、買い物遊び、外出等)	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		個室と広い活動室を使い分けて支援しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			午前の時間を使って行うことができます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		当日できない内容は翌日の午前に行っています。	支援の実施当日に振り返りの時間を設けることは難しいため、翌日の午前に行い情報共有を図ります
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2		適切な記録を心がけています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2		定期的実施し、見直しをしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	2		地域交流の機会が少ない状況です。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		児童発達管理責任者が映かしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1		情報共有、連絡調整については行き違いが無いように心がけています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5		・現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れは行っていません。	現状では受け入れは困難です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1	今年度新規受け入れはありません。新規利用の際は綿密な情報共有を行います。	必要に応じて、協力を要請し情報共有を図ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4		対象者となる方がいませんでした。	卒業時には的確な情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3		コロナ禍で研修は受けていません。	必要に応じてアドバイスを受けて、支援に活かせるようにします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	コロナの影響の為、行えていません。	可能な範囲で交流の機会を設けます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	1	参加の機会がありません。	開催される場合には積極的に参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡ノートや口頭でお伝えしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	児発管が関係機関と連携し、必要な支援を保護者に伝えていきます。	必要があれば、情報収集を行い、支援に活かします。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		実施しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	1	・コロナの影響のため、行えていません。	感染症の動向により開催を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2		迅速な対応を心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		活動時の写真を提供したり、ホームページに活動の様子を公開しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1		個人情報の取扱いは慎重に行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		個々に配慮して対応しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	2	コロナ禍の為、困難な状況です。	事業所独自での開催は難しいため、法人の企画する事業を通して交流を図ります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		マニュアルの確認と周知が不足していると思われます。	各種のマニュアルについて周知します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			研修の機会があれば積極的に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3		現在、身体拘束の必要な児童はいません。	検討が必要な場合には手順に則り実施します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	1	保護者からの情報により対応しています。	必要に応じて医師からの指示書を求めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2		毎月の会議で共有しています。	